

ANNUAL REPORT

一般社団法人 ニュールック
2016年度 年次報告書

new-look

CONTENTS

代表からのメッセージ	2
------------	---

イントロダクション

ニュールックの歩みと、高校中退者・不登校生のすがた	3
---------------------------	---

高校中退者・不登校生に必要なものと、各事業の対応	4
--------------------------	---

事業・活動概況

個別学習塾：TOB塾	5
------------	---

日中事業

保育一体型個別学習塾：PACサポート	6
--------------------	---

協働体験：となりのはたけ	7
--------------	---

学習体験：富山スタディツアー	7
----------------	---

夜間事業

夜回り：ナイトクルージング	8
---------------	---

夜間訪問学習：ブルームーンラボ	8
-----------------	---

交流事業

動画配信：ヒラケゴマプロジェクト	9
------------------	---

高校中退・不登校ネットワークに関する予備調査	9
------------------------	---

年間行事・イベントなどの情報	10
----------------	----

メディア情報

マスメディア関連	11
----------	----

イベント・講演活動	11
-----------	----

財務・会計情報

2016年度 活動計算書・貸借対照表	12
--------------------	----

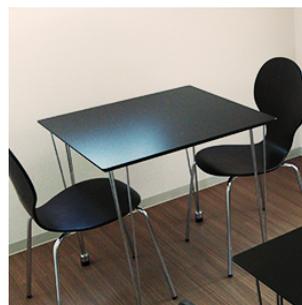
支援・寄付情報

今年度いただいたご支援・寄付に関する報告	13
----------------------	----

ご支援・寄付の方法に関する情報	13
-----------------	----

おわりに

2017年度へ向けての目標と方針	14
------------------	----



5年目のスタートにあたり

ありがたいことに、今年もたくさんの高校中退者・不登校生たちと出会うことができました。

一人ひとりがさまざまな状態・状況にあるなか、そのほとんどが「自分の人生をちゃんとしたい」と思っている人たちでした。TOB塾へ保護者と一緒に来てくれた人、一人で来てくれた人、夜の公園で沢山の人の中から出会った人、イベントや講演のなかで話しかけて来てくれた人、その誰もが変わらずそうでした。

その中にはもちろん、その気持ちに寄り添うことで次のステップまで一緒に進んでいけた人たちもいれば、残念ながら今のニュールックの状況ではフォローしきれない人たちもいました。

そうしたうまくいかない状況が中にはありながらも「少しでも私たちに何かできることがあれば」と、子連れ通塾制度—TOB塾PACサポートや、ナイトワークに従事する高校中退・不登校経験者への学習支援—ブルームーンラボなど、まだ世の中にあまり見当たらないかたちの事業も創ってきました。

しかし一人、また一人と新しいケースに遭遇することは「いったいあと何人と出会えば、高校中退・不登校という社会問題の全体像をつかめるのだろうか」「それぞれを適切にサポートするためには、どうすればよいのだろうか」というように、私たちが立ち向かう課題の複雑さ、その領域の広さに対する無力感を痛切に感じさせられる日々の連続でもありました。

それでも、ニュールックでの4年間、高等学校教諭としての時代と合わせると8年間。学校制度や高校中退・不登校という社会問題と向き合うなかで見えてきた「高校中退・不登校」の本質。またその可能性を前にしてようやく「いろんな人たちの力をお借りしながら課題に立ち向かい、歩を進めてもよいのかもしれない」と思えるところまできた気がしています。

そんな5年目の今年、ニュールックは新しく1つのことを企んでいます。その企みは、他の団体や企業さんのお力を、沢山お借りして動き出す予定になっています。

詳しくは具体的に物事が決まってからになりますが、「高校中退者・不登校生の可能性」をテーマに進めていきたいと考えています。どうぞ楽しみにしててください。

挨拶のおわりに。こんな私たちではありますが、それでも期待してくださる方々の沢山のご支援・ご協力に心からの感謝をもって、これからの新たな1年へ向けて、力強く踏み出していきたいと思えます。

一般社団法人new-look 代表理事 山口 真史



ニュールックの歩みと、高校中退者・不登校生のすがた

1. 始まりはほんの小さな違い

高校中退者・不登校生と、そうでない人との間には、個人的な能力の違いはほとんどありません。そこにあるのは、ほんの小さな違いだけです。どうにも合わない人間関係にはまってしまった。家族の事情で学校に通っている暇がなくなった。勉強も手につかない事態に巻き込まれた。校則を破ったことを先生に見つかってしまった。十人十色の状況の中、誰にでも起こりえたほんの少しの“違い”。ただそれだけです。

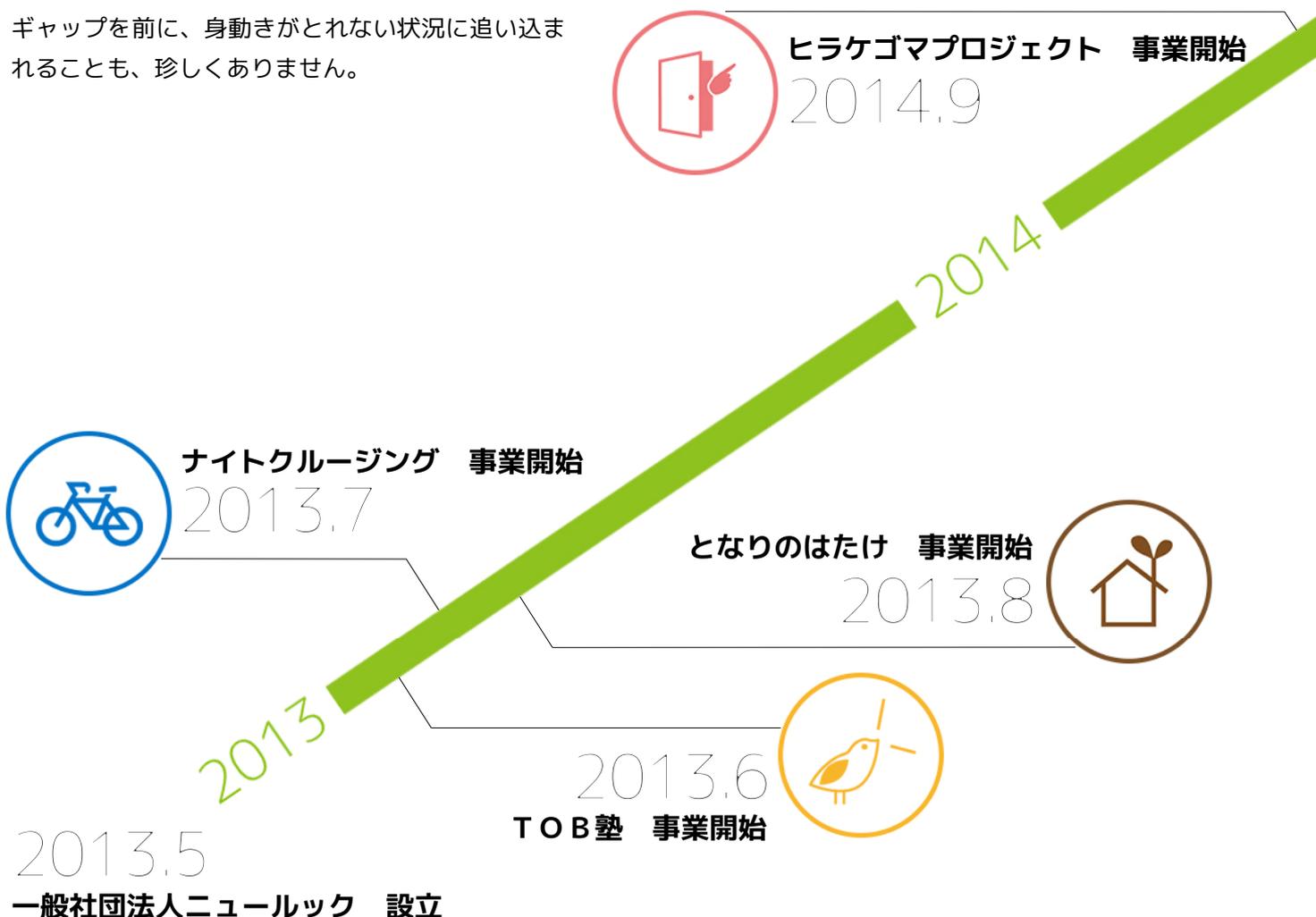
2. 現実の見え方は大きく、重い

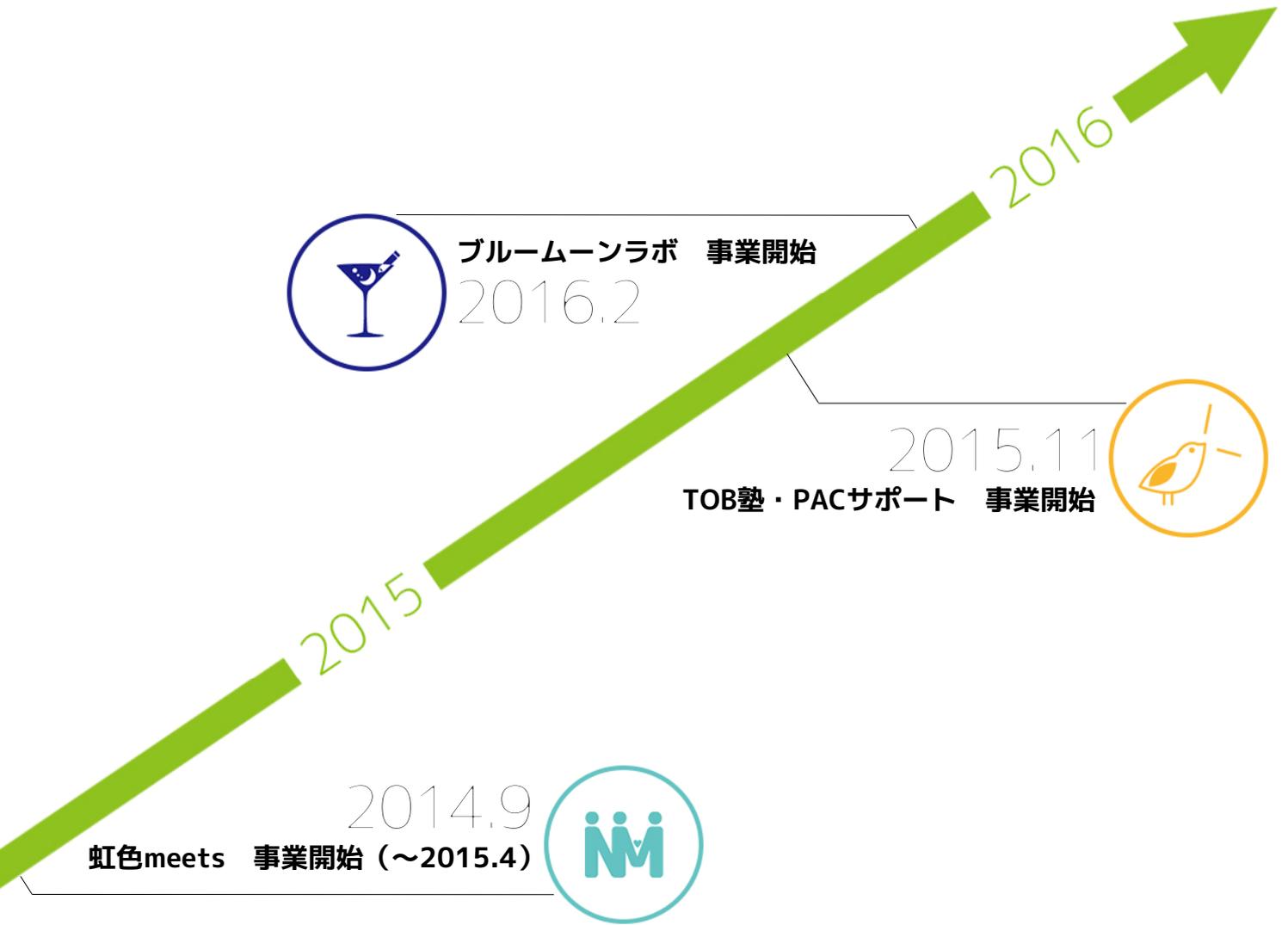
それでも、ほとんどの人ができている高校への通学・卒業をできなかったことは想像以上の枷となり、その後の人生を総合的に狭めてしまいます。自分で自分を低く見積もってしまい、将来への展望を持てなくなったり、偏った狭い情報で物事を判断しようとする人も少なくありません。また、現実の自分・理想の自分との間に生じたギャップを前に、身動きがとれない状況に追い込まれることも、珍しくありません。

3. 成長の機会損失が積みあがる

「高校中退・不登校」の枷は重く、社会に胸を張って巣立つことを困難にします。一般に学校が提供するようなプログラムを経験することもできません。その経験の不利を埋めようと、自分から社会に対して積極的に行動できる人がどれほどいるでしょう。これは学校に通っている人でも同じだと思います。色んな環境で様々な人や物事と出会い、自分を見直す機会を失うことこそ、最も大きな損失なのです。

高校中退・不登校というだけで人の可能性は閉ざされたりしない。それを知ることさえできたら、彼らは自分の足でどこまでも歩んで行けると、私たちは信じています。





高校中退者・不登校生に必要なものと、各事業の対応

						Coming Soon...
学力・学歴・資格	●				●	●
社会性・つながり	●	●		●	●	●
希望・応援	●		●	●	●	●
失敗できる基地	●	●			●	●
資金					●	●

個別学習塾 - TOB塾



自分の目標まで、自分のペースで。
独りじゃない、一人ひとりの未来へ。

高校中退者・不登校生たちが自分なりの生き方や進路を見つけるためのサポートをします。
塾生一人ひとりの状況・特性に応じた勉強の進め方をするために、完全個別授業という形式をとっています。塾生の心の機微や、それぞれの課題に寄り添いながら、最適な関わり方を目指して授業を進めていきます。

今年度の実績

塾生 **36** 人
卒塾生 **17** 人

(2016年4月1日～2017年3月31日)

卒塾生の進路は大学・専門学校への進学11人、留学1人、高卒認定取得3人、他予備校への進学が2人でした。次のステップに進むも、少し立ち止まってみるのも、どちらもそれぞれに必要なステップにすべく寄り添っていきます。

また小中学生からの問い合わせも増えてきています。主には居場所ニーズなのでどのように対応すべきか模索中です。

今年度のトピック

高卒認定 最短記録更新

高卒認定 8科目を入塾後2ヶ月半の塾生が取得。
塾生自身が自分の特性をしっかりと認識していたので、各科目ごとに対策を相談しながら進め、見事一発合格となりました。

自習室 活用すすむ

今年度整えられた自習室は、毎日3名前後の利用がありました。
勉強のほか、食事や畑への集団参加に発展するなど、社会性を育む効果が高まりました。

公立高校 出席日数に

某公立高でTOB塾に通う日を、通学日数とする特例が認められました。
中高ともに認められるためには、まだまだ障壁が沢山ありますが、地道に活動を広げていきます。

今後の課題

1. 塾生の増加と多様化

高卒認定・進学のほか、学校課題のサポート、各種資格や就職・起業の相談など、ニーズが多様化しています。一人ひとりが「自分の道を自分で選び、自分で考えながら進む」という傾向としては喜ばしいことですが、これに応えられるスタッフの増員や配置なども考えていかねばなりません。

2. 教材の開発

高卒認定の最短学習キットの作成を昨年度より進めていますが、進めれば進めるほどに、勉強のスタイルは人それぞれであることを痛感させられます。さまざまな塾生へテキストを使用し、より汎用性の高い内容・方式を探りつつ、早急に全8科目の教材を形にしなければなりません。



親の反応は？
 特別何も言ってきたりませんでしたね。逆に言われてるとやる気が起きなかったかも。でも受験のために勉強し始めた姿を見ると親も少しは安心してくれたのではないのでしょうか。

勉強を乗り切れたのはなぜ？
 毎日の勉強にある程度達成感を持つようにはしていました。家では勉強が集中できないので、できるだけ外に出たりして、知っていることが増えて楽しい、伸びていく感覚がうれしいという感じを持つと勉強が楽しいと思えるようになっていきました。勉強が捗らない時はイライラしていたけれど、楽しい大学生活を夢見て乗り切りました。

TOB塾に通じきつかけは？
 高校を辞めて通信制の高校へ通おうとしていたけれど、そこではちゃんと勉強が頭に入らないと感じて。そんなときに出会ったのがTOB塾だった。

TOB塾はどんな場所？
 勉強しないといけないという気持ちの後押ししてくれた場所。塾に来て同じような状況の人と話すのが楽しかったです。

受験を振り返ってどう？
 今まで何も頑張ったことなかったと思う中で、受験は一番頑張ったことだと思えます。受験はゴールが決まっているし、受かるか自信になりました。
大学はどう？
 英語の勉強しかしていなかったのが国際系の学部に進んだんですが、英語の勉強が楽しいです。学力に関しても周りと大きく差を感じることはありません。秋からは1年間アメリカに留学に行くことになりました。
同じような境遇の人に向けてメッセージがあれば。
 受験を機に自分を変えることはできると思っています。楽しい大学生活を夢見て受験勉強を頑張ってきたけれど、実際に大学は楽しいです。それを糧に勉強を頑張って自信にしましょう。

TOB塾はどんな場所？
 勉強しないといけないという気持ちの後押ししてくれた場所。塾に来て同じような状況の人と話すのが楽しかったです。

TOB塾はどんな場所？
 勉強しないといけないという気持ちの後押ししてくれた場所。塾に来て同じような状況の人と話すのが楽しかったです。

保育一体型個別学習塾 - PACサポート



親の笑顔を見こんで、子ども笑う。
 長い道を、親子笑って歩めるように。

シングルマザーが育児と勉学を両立し、キャリアアップを図るためのサポートをします。

育児や仕事に追われて余裕を持ってないシングルマザーの方が、少しでも自己投資できる時間を作れるよう、TOB塾に預かり保育を導入することで、子連れ通塾でもサービスを利用できるようにしたモデルです。

今年度の実績

塾生 2人
 卒塾生 1人

(2016年4月1日～2017年3月31日)

昨年度からの塾生は無事、高卒認定を取得しました。また新たに子連れで通塾希望の塾生の入塾があり、1歳児とともに高卒認定8科目取得を目指して勉強に励んでいます。乳児の体調に左右されながらも、少しずつ前進しています。

当事者自身が自力で次の一歩へ進めることが私たちの理想とする目標ですが、PACサポートは例外です。子供を抱えたひとり親の方が次に行くためにはひとり親の保護者のサポートが不可欠なのが現状です。

さらに上級学校や資格予備校へ進学する際の学費や育児を思えば、個人の努力には限界があります。この現状に対して何が出来るかを考え、団体外部にも助けを求めつつ進めていきたいと思ひます。

協働体験 - となりのはたけ



野菜の世話に販売会、沢山の仕事。
人手を求めて、つながりが生まれる。

塾生・講師・地域住民など、立場や年齢の異なる様々な人が関わり合う環境を創出します。

作物の植え付け・手入れ・草引きなどの農作業体験や、地域へ向けた作物の販売会などを実施しています。さまざまな人との協働作業や、地域との関わりは、塾生にとって塾だけでは得られない体験を生み出します。

今年度の実績

販売会の実施 **5** 回

関わった人数 **94** 人

(2016年4月1日～2017年3月31日)

T O B 塾部門の自習室整備に伴い、塾内で塾生同士が関わる機会が増加。塾生や講師が声をかけあって農作業を行ったり、収穫した作物を調理して昼食をとる習慣ができるなど、集団化を促す効果が見られました。これにより参加者の積極性・主体性が向上したことも大きな収穫です。

学習体験 - 富山スタディツアー



霊峰・立山の厳しくも美しい自然。
職人の温かな心に触れ、深まる学び。

和紙・陶芸・漆など、様々な分野の職人の方々とともに、貴重な学びの時間を過ごします。

富山は立山に工房を構える和紙職人、川原隆邦さんが運営されているフリースペース「立山青山共同創造舎」にて、2泊3日の学習体験を行います。都会の日常では得られない貴重な学びが盛りだくさんのツアーです。

感
じ
る

工房にて和紙作りに挑戦。
水の冷たさ、寒さを肌で感じ
厳しい環境が生み出す和紙の
美しさ、自分で漉いた和紙を
手にとる達成感を感じます。

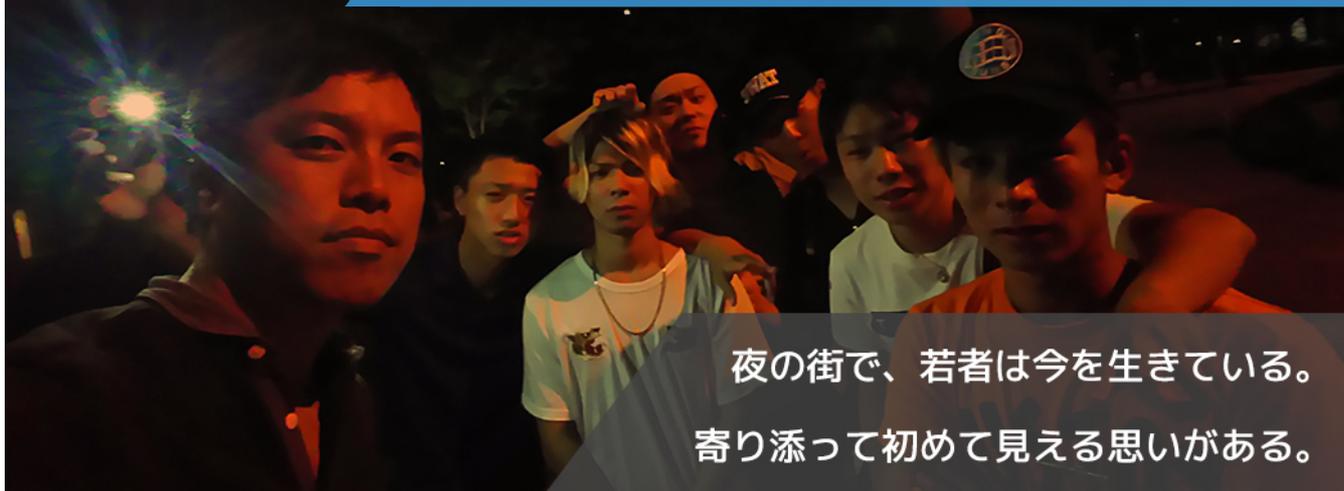
関
わ
る

夜には現地の職人さんたちと
一緒に食事を作り、垣根ない
賑やかな晩餐を楽しみます。
大人たちの夜話に混ざって、
目を輝かす塾生の姿も。

学
ぶ

閻魔像が厳しく睨みを利かす
お堂の中での自習、地獄伝説
の伝わる立山の歴史・信仰を
知る博物館見学など、非日常
からの学びを深めます。

夜回り - ナイトクルージング



夜の街で、若者は今を生きている。
寄り添って初めて見える思いがある。

夜の市街地を巡回しながら若者たちと語りあい、彼らの目から見える社会の姿を探ります。

西宮・尼崎・伊丹・十三・心斎橋などで夜歩きする若者たちに話しかけ、高校中退や不登校の話などを交えながら、彼らの考え方や価値観を探ります。何気ない雑談から悩みの相談まで、寄り添いを重視した活動です。

今年度の実績

夜回り回数 **75** 回

出会った人 **222** 人

(2016年4月1日～2017年3月31日)

しみん基金KOB E様より助成いただき、安定実施に向けて活動中です。2件の進学相談を行ったほか、高認説明会の周知、2回の養成講座実施による夜回り人員の増員などが行われました。今後は就職を希望する若者のニーズなどにも応えられるような事業展開を進めていきます。

夜間訪問学習 - ブルームーンラボ



夜の世界で頼れるものは自分だけ。
その味方になれるための道を探る。

歓楽街で働くナイトワーカーが、セカンドキャリアを確保するためのサポートを行います。

高校中退経験を持つナイトワーカーが、適齢期を過ぎて退職した後の選択肢を広げていけるように、高卒認定資格の取得をサポート。雇用主様の同意のもと、営業時間前の店舗などで出張授業を行っています。

今年度の実績

受講生 **1** 人

合格科目 **7** 科目

(2016年8月-4科目 11月-3科目)

約9か月間、週1回の訪問授業を行いました。繁忙期など、出席が不安定な時期もありましたが、7科目合格(残1科目)を果たすことができました。授業では利用者に合った専用テキストを使用し、仕事の悩み相談へも対応。受講期間中のチームマ昇格など、二輪両立を体現した結果となりました。

動画配信 - ヒラケゴマプロジェクト



経験者から当事者へのメッセージ。
未来を思い描くヒントがそこにある。

高校中退・不登校経験者へのインタビューを、動画でインターネット上に配信しています。

高校中退・不登校経験を経て就職・進学など新たな道へ進みだした人たちの経験談を配信することで、現役の当事者たちが新たな一歩を踏み出すためのヒントを提示し、世の中にキャリアの多様性を伝えています。

今年度の配信

ソムリエ

水船 一樹 さん



高校2年の時、親に反発して高校を中退。その後はバイトやバンド活動をし、39歳でソムリエ資格を取得・転身。

ヘルパー

みやすけ さん



精神的疾病から高校1年の時に中退。自宅で休養中に見た番組がきっかけで、7年前にヘルパー資格を取得・転身。

ミュージシャン

森口 太一 さん



集団生活に馴染めず高校2年の時に通信制へ転校。大学へ進学後に開始した音楽活動を30歳で本業として転身。

高校中退・不登校ネットワークに関する予備調査

高校中退・不登校の当事者・応援者をマッチングするネットワーク事業を構想しています。

高校中退・不登校経験を持つ10~40代のテストモニター約30名に、ネットワークに関する予備調査のためのアンケートを実施しました。今後は予備調査で見えてきたニーズをもとに、事業化の道を模索していきます。

高校中退・不登校ネットワークに期待するもの

- | | | | |
|--------------|--------|---------------------------|--------|
| ■ 進路に関する情報交換 | 57.7 % | ■ 学歴不問の求人サイト | 46.2 % |
| ■ 悩み相談・Q & A | 57.7 % | ■ パーティなど会員イベント | 42.3 % |
| ■ 運営からのニュース | 53.8 % | ■ 自分の情報が発信できる機能 | 34.6 % |
| ■ コミュニティ機能 | 53.8 % | 他、クラウドファンディング・メッセージツール など | |



2016. 5. 7 **TURNING POINT '16**

「中退はスタートだ」を合言葉に、高校中退・不登校経験者のゲストが集まり、現役当事者へ体験談や思いを伝えました。会場はライブハウス・梅田シャングリラにて、サクソ奏者の浦朋恵さんをお招きし、ソウルフルなゲストライブも開催。52名の来場者を前に、生きた情報を発信しました。

2017. 3. 26 **TURNING POINT '17**

開催月を5月から3月に変更し、会場は梅田ツインタワーへ。大会議室2部屋分の広間には98名の来場者が集まり、壇上の高校中退・不登校経験者ゲストによるパネルディスカッションや質疑応答、個別相談会などが行われました。東海より来場された方など、遠方からの反響もありました。

2016. 9. 4 **高卒認定説明会**

筆記試験・独自の手続きという特性から、世間で敬遠されがちな高卒認定試験について、正しい知識を得て受験意欲を高め、進路に対して希望を持ってもらうために、高卒認定試験の概要に関する説明会を開催しました。

説明会ではTOB塾講師陣による各科目の対策講座をはじめ、必要な準備物など出願に関する説明や、願書の配布を実施。また、高卒認定を取得した後の進路に関してイメージを持ってもらえるよう、事例紹介なども行いました。

当説明会への参加からTOB塾へ入塾した塾生が、同年2科目合格を達成するなど、当事者の前進にもつながりました。



今年度の実施 **その他のイベント・活動情報**

- 2016. 7.26 第21回 フィランソロピーセミナー 参加
- 2016. 8. 1 地域行事「高木祭」参加
- 2016. 8.25 TOB塾 花火大会 開催
- 2016. 8.28 第6回 近畿地区版人間力大賞 出場
- 2016. 9.17 第30回 人間力大賞 出場
- 2016.10.29 しみん基金こうべ審査会 出場
- 2017. 1.21 カップヌードルミュージアム 見学

他

マスメディア関連



- 2016. 4. 2 産経新聞「働く店で出前授業」
- 4. 14 毎日新聞「夜の街で出前授業」
- 4. 23 朝日新聞「生き方考える 梅田でイベント」
- 6. 5 読売新聞「詰んでない」
- 7. 25 人民新聞「高校中退を新たなスタートラインに」
- 8. 26 朝日新聞「高卒認定受験説明会・試験対策講座」
- 10. 31 朝日新聞「夜の店で学び直し」
- 12. 26 北海道新聞「大韓航空機墜落事件 惨劇から33年」
- 2017. 3. 4 朝日新聞「挑む！若者の再出発支え 夢語り合う」
- 3. 22 読売新聞「高校中退者 進路考える」
- 3. 23 朝日新聞「高校中退はスタート 進路に希望を」



- 2016. 6. 21 読売TV「かんさい情報ネットTEN」
- 7. 12 朝日放送「キャスト」



- 2016. 6 雑誌「Y+KANSAI」

イベント・講演活動



- 2016. 6. 10 第30回人間力大賞 文部科学省大臣賞 受賞
主催：日本青年会議所
- 8. 28 第6回近畿地区版人間力大賞 会長賞 受賞
主催：日本青年会議所
- 9. 29 若手職員勉強会（社内研修）
主催：公益財団法人 京都ユースサービス
- 2017. 2. 5 神戸ソーシャルビジネス創業塾
共催：日本政策金融公庫・NPO法人 しゃらく・神戸市
- 3. 12 DODAソーシャルキャリアフォーラム
主催：株式会社 インテリジェンス
- 3. 19 若者の「今」を知る・考える・語るセミナー
主催：NPO法人 暮らしづくりネットワーク北芝

2016年度 活動計算書

一般社団法人 new-look

自 2016年 4月 1日 至 2017年 3月 31日

[税込] (単位: 円)

■ 経常収益		
受取会費		12,000
受取寄付金		1,256,560
受取助成金		498,000
自主事業収益		9,585,990
その他収益 (受取利息・雑収入)		147,515
経常収益 計		11,500,065
■ 経常費用		
事業費		6,531,346
(※ 内訳として人件費)		(4,615,335)
管理費		5,003,577
(※ 内訳として人件費)		(3,941,023)
経常費用 計		11,534,923
■ 税引前当期正味財産増減額		△ 34,858
法人税、住民税及び事業税		91,502
当期正味財産増減額		△ 126,360
前期繰越正味財産額		△ 79,366
次期繰越正味財産額		△ 205,726

財務
会計
情報

2016年度 貸借対照表

一般社団法人 new-look 全事業所

2017年 3月 31日 現在

[税込] (単位: 円)

流動資産		流動負債	
現金	323,451	前受金	216,000
普通預金	72,174	役員借入金	2,426,319
前払費用	1,404,000	未払金等	407,836
未収入金	128,000	流動負債合計	3,050,155
流動資産合計	1,927,625	負債合計	3,050,155
固定資産合計	916,804	正味財産合計	△ 205,726
資産合計	2,844,429	負債及び正味財産合計	2,844,429

今年度いただいたご支援・寄付に関する報告

今年度も、たくさんの温かいサポートをありがとうございました。

ニュールックの活動は、みなさまからの温かいサポートによって支えられています。

今年度も、個人のみなさま・他団体さま・関係者さまから、たくさんの応援・寄付・助成をいただきました。たくさんのサポート、本当にありがとうございました。

いただいた 寄付・助成金 の総額と内訳

今年度いただいた寄付金の総額	1,256,560 円
しみん基金K O B Eさま助成分 <small>※ 助成期間：2016年 10月 1日～2017年 9月 31日 まで</small>	498,000 円
ドコモ市民活動団体助成事業分 <small>※ 助成期間：2015年 11月 1日～2016年 10月 31日 まで</small>	500,000 円

事業・活動へのご協力をいただいた企業・団体さま（敬称略）

- 積水ハウス 株式会社
- チャットワーク 株式会社
- 公益社団法人 日本フィランソロピー協会
- 川原製作所
- 他

ご支援・寄付の方法に関する情報

Donate
寄付する



資金のサポート

new-lookの全ての活動に使わせていただきます。



物品のサポート

参考書・農業用品・PCなど募集しています。

Join
参加する



スタッフとして

ボランティアスタッフとして関わってくださる方を募集しています。

- TOB塾講師（有償）
- 1日イベントスタッフ
- 事業／企画担当候補

Share
広める



スマホからでも

フェイスブックなどで、公式アカウントを使って情報を発信しています。

高校中退・不登校問題を世間へ知らせるため、情報の拡散をよろしくお願ひします。

ご支援・寄付などにご協力くださる方はお電話・メールにてご連絡ください。



0798-56-7139



info@new-look.jp



http://www.new-look.jp



2017年度へ向けての目標と方針

高校中退・不登校に関わる若者たちが、自分らしい生き方を見つけるための機会を創出する

私たちニュールックはこの理念に従い、以下3つの指針を軸として、事業の改善・拡大に取り組みます。

事業の改善・拡大に向けた3つの指針

- 高校中退・不登校の経験によって、キャリアの多様性が損なわれることはないという気付きを喚起する
- 高校中退者・不登校生が、目標を見出すまでの期間を充実させ、見出した目標に対する手段を明確化する
- 高校中退者・不登校生が、自分の生きる道を、自分で考え、自分で選択できるよう、働きかける

お
わ
り
に

昨年度の構想から、2016年度に実現・開始されたアクション

第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
年間行事：5月 TURNING POINT '16 実施	TOB塾：7月 自習室の整備 ヒラケゴマプロジェクト：9月 動画編集専用PCの導入 年間行事：9月 高認説明会 実施	学習体験：11月 富山スタディツアー 実施 ナイトクルージング：10月 実施の安定化	年間行事：3月 TURNING POINT '17 実施 事務局：3月 経理・税務の安定化

2017年度へ向けたアクションと構想

実現予定	継続検討	新規検討・定期実施
TOBIT：2016～ ■ 就労相談窓口の設置 TOB塾・夜回りなどで出会う就労ニーズに対応した新事業です。	ナイトクルージング：2016～ ■ 高校生徒指導部との連携 非行が多い地域などの情報を収集し、重点的に夜回りを行います。	ナイトクルージング：新規 ■ 就労へのヒアリングモデル TOBITの利用者を効率的に集めるヒアリングモデルを策定します。
TOB塾：2016～ ■ TOB塾のシステム化 企業様のサポートで2017年度内に運用開始を予定しています。	交流事業：2016～ ■ 高校中退ネットワーク 全国の高校中退・不登校関係者が交流できる組織を構成します。	年間行事：定期 ■ TURNING POINT '18 最大の年間行事として、さらなる進化と改善を目指します。
TOB塾：2016～ ■ 高卒認定試験問題集の完成 最短コースで効率よく試験合格を目指すための対策テキストを作成しています。 全8教科の完成に向かって、鋭意編集作業中です。	TOB塾：2016～ ■ 寮の整備 遠方ニーズへの対応、塾生の生活合理化のために寮を運営します。	TOB塾：新規 ■ 遠隔授業の実施 通塾困難なケースに対応するために、web授業を開始します。
	動画配信：2016～ ■ 企画番組の制作 高校中退・不登校に関する娯楽番組を配信し、関心を高めます。	TOB塾：新規 ■ 関連塾の設立 TOB塾に共感する方々とともに、他地域・地方展開を検討中です。



〒 663-8032 兵庫県 西宮市 高木西町 14-6
TEL/FAX: 0798-56-7139
Mail: info@new-look.jp
Web: <http://www.new-look.jp>